

中学校部活動の地域移行について

令和6年度 第2回長野市部活動関係者連絡会議
(長野市地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会)
【2/6開催】

資料一部抜粋

長野市立中学校の部活動の現状について

令和6年度 長野市立中学校の部活動運営について（基本方針）

市立中学校における部活動運営の方針を「『長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針』に沿った部活動運営を行うこと」とし、そのための取組として以下の5項目を学校に指示した。

地域移行が完了するまでの期間において、長野市立中学校で行われる部活動運営について方針を示すもの。
(※小学校課外活動を含む)

県教委指針に沿った部活動運営のために 全中学校で確実に実施する5つの取組

- (1) 「学校の部活動に係る方針」等を策定・公表・説明する
- (2) 県教委指針の活動基準の徹底に努める
- (3) 校内研修や職員間での協議や情報交換の機会を設ける
- (4) 「部活動運営委員会」を設置する・活動を充実させる
- (5) 保護者負担の軽減を図る

国のガイドラインに沿って、各校が「部活動方針」を策定する。また、「活動計画及び活動実績」も作成し公表する。

「部活動の地域移行」に向けて、各校において移行方法を検討し、段階的な移行を推進することを明記→市では、指導主事等による支援を実施

また、以下の4項目について、市教育委員会の取組として学校教育課を中心に実施していく。

- (1) 保護者への情報発信
- (2) 社会教育団体、関係機関等に対する働きかけ
- (3) 関係者による会議及び指導者研修会の開催
- (4) 部活動の新たな取組（地域移行を含む）等、各校の取組を情報発信

これまでの取組

令和4年12月27日
学校部活動及び新たな
地域クラブ活動の
在り方に関する
総合的なガイドライン

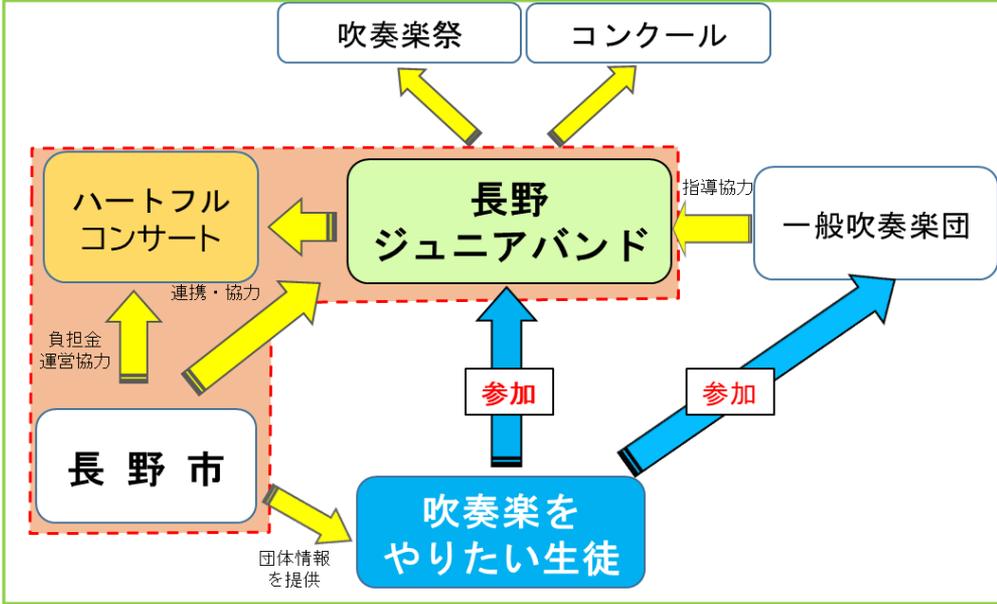
県教育委員会
令和6年3月策定
「長野県中学生期のス
ポーツ・文化芸術活動指針」

市教育委員会
県の方針を受け、
令和6年4月改訂
「長野市立中学校の
部活動運営について」

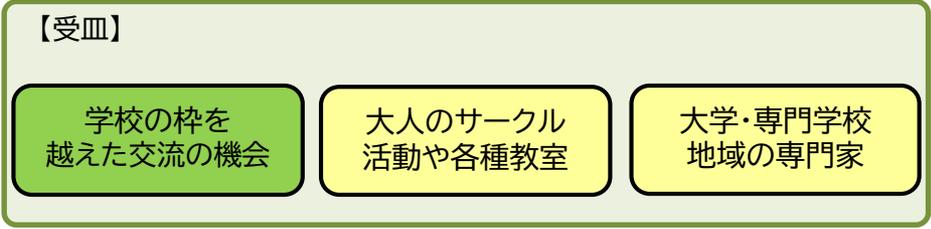
多種多様な文化芸術活動を
3つに大別し、受け皿を整備

	種別	学校数	部員数
が 集 団 活 動 メ イ ン	合唱	12	178
	吹奏楽	21	601
	演劇	6	104
	その他音楽	2	26
が 個 人 活 動 メ イ ン	美術・芸術	17	574
	書道	2	21
	茶道	1	17
教 科 と 関 連	科学	7	235
	技術・ものづくり	7	187
	家庭科・洋裁	5	94
	パソコン	4	88

例) 吹奏楽部の地域移行のイメージ図



既存の地域の強み を生かした、
受け皿の整備を推進する



活動の特性を考慮した上で、
生徒や顧問、関係者の声を
把握し、受け皿を整備する。

長野市立中学校 「文化部活動の地域クラブ活動への移行」 R6～R9 推進計画（ロードマップ）

長野市教育委員会事務局学校教育課／長野市観光文化部文化芸術課 令和6年4月

		令和5年度			令和6年度						令和7年度						令和8年度						令和9年度以降														
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
国		部活動改革推進期間																		進捗状況を検証し、更なる改革を推進																	
		・実証事業等による支援 ・先進事例等の情報提供 ・自治体への指導や助言等 ・アドバイザー事務局の設置 ・地域において、子どもたちが生涯にわたって文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保する。																		・環境整備に係る進捗状況等を評価・分析し、継続して地域の文化芸術環境の充実に取り組む。																	
ゴールイメージ		移行方法の検討期			段階的な移行期（文化芸術団体等・学校）												平日・休日とも学校外へ移行→取組検証・充実期																				
文化部活動	市教委	2月 関係者連絡会 推進計画検討			6月 関係者連絡会 進捗状況管理			2月 関係者連絡会 進捗状況管理			6月 関係者連絡会 進捗状況管理			2月 関係者連絡会 進捗状況管理			6月 関係者連絡会 進捗状況管理			2月 関係者連絡会 進捗状況管理			6月 関係者連絡会 進捗状況管理														
		4月～3月 市関係課等と課題検討 顧問会ヒアリング			4月 市校長会 取組説明		5～7月 支会校長会 情報交換		4月～3月 市関係課等と 課題検討			4月 市校長会 取組説明		5～7月 支会校長会 情報交換		4月～3月 市関係課等と 課題検討			4月 市校長会 取組説明		8～10月 支会校長会 情報交換			4月 市校長会 取組説明													
		4月～3月 コーディネーター等による 学校訪問支援			4月～3月 コーディネーター等による学校訪問支援 地域や文化芸術団体等との連携 移行に向けた検討、説明会への支援						4月～3月 コーディネーター等による学校訪問支援 地域や文化芸術団体等との連携 移行に向けた検討、説明会への支援						4月～3月 コーディネーター等による学校訪問支援 地域や文化芸術団体等との連携 移行に向けた検討、説明会への支援			状況等を検証し、 更に学校支援																	
	中学校	設置部の 現状把握 校内検討			【吹奏楽部】・【合唱部】既存の活動組織を運営母体とするクラブへの段階的な移行を検討 【演劇部】運営母体の在り方について検討 → 段階的な移行を検討																		【段階的な移行とは】 休日に月1～2回実施→休日に毎 週実施→休日平日ともに実施			原則 部活動 の 発展的 解消			【地域移行が完了した学校】 移行後の課題を整理、充実 【地域移行が未完了の学校】 引き続き、課題検討を継続								
文化芸術団体	文化芸術課	顧問会ヒアリング 文化芸術団体ヒアリング 移行推進計画の検討			顧問会、文化芸術団体ヒアリング ハートフルコンサート、市演劇祭等への支援 (仮)文化庁体制整備事業の推進						完全移行に向けた体制整備、支援 ハートフルコンサート、市演劇祭等への支援 (仮)文化庁体制整備事業の推進																										
	吹奏楽	運営体制の検討・整備						運営体制の検討・整備・検証、 休日に月2回程度の活動開始												外部の運営母体による運営体制への 段階的な移行																	
	合唱	運営体制の検討・整備・検証 休日に月2回程度の活動開始						運営体制の検討・整備・検証、 休日に月2回程度の活動												外部の運営母体による運営体制への 段階的な移行																	
	演劇	運営体制の検討・整備						運営体制の検討・整備・検証、 休日に月2回程度の活動開始												外部の運営母体による運営体制への 段階的な移行																	
	その他	地域文化団体等の情報収集			地域文化団体等の情報収集、情報提供																																

文化部活動の発展的転換

（1）長野ジュニアコーラス（NJC）・長野ジュニアバンド（NJB）について

- 中学校の枠を超え合唱や吹奏楽を楽しむ仲間が集まり、よりレベルの高い歌唱や演奏を目指すことを目的に平成6年に発足
- 運営は、中学校の合唱部顧問、吹奏楽部顧問が中心となって行っている。
- 毎年2月に開催（市と実行委員会の共催）しているハートフルコンサートへの出場が主な活動目標
- 部活動の所属の有無に関わらず、希望者が参加できる。

	N J C	N J B
活動単位	1（全市）	2（北部・南部）
活動期間	10月～2月	
活動頻度、活動時間	月に1回、休日に3時間程度	
活動場所	信濃教育会講堂ほか	主に学校施設



N J C、N J Bの枠組みを活かした地域移行の形を模索



（２）吹奏楽の実証事業（R6）

○実施主体 長野ジュニアバンド（NJB）

○実証期間 令和6年6月～令和7年2月

○事業内容

- ・NJB活動の通年化を見据え、活動開始を6月とする（これまでは10月から）。
- ・地域別活動の実施（市内を9ブロックに分け、各ブロック2～3校ずつで活動）
- ・新たな発表の場として「吹奏楽祭」（9月）を開催
- ・楽器別講習会の開催など、練習内容の充実
- ・専門性の高い指導者を招聘しての講習会の実施

○活動場所 ブロックごとの拠点となる学校施設等

○参加者数 100人×3学年（想定）

○参加費 1・2年生10,000円、3年生5,000円（みらいハッ！ケンポイント利用可）

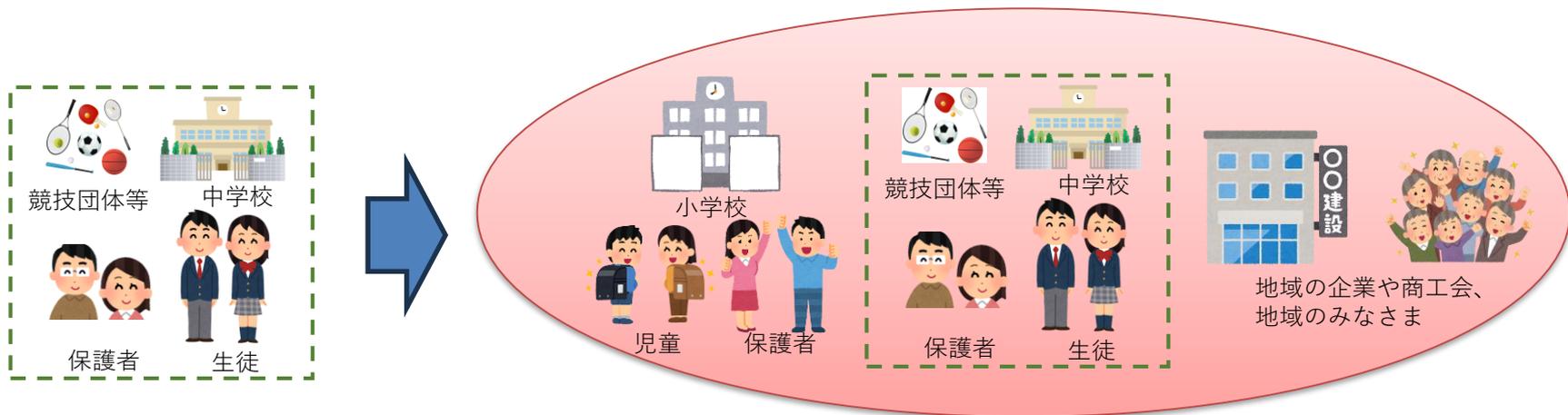
○概算費用

単位：千円

収入		支出	
市負担金	1,876	講師諸謝金等	3,609
文化庁実証事業補助	1,676	印刷代、通信費	360
一般財源	200	消耗品費	82
参加費	2,500	吹奏楽祭会場借上料	145
		保険料	180
計	4,376	計	4,376

情報発信の範囲拡大、内容の充実

1 市立小学校や関係団体への説明（訪問支援の拡充）



これまでの主な説明の範囲

だけでなく、小学校や地域に対する訪問支援を拡充

（R6.12月に市立小学校に呼び掛けを実施 ⇒ 1・2月に約20校で説明会を実施）

2 ホームページ等を活用した情報発信の充実

本市の推進計画や地域展開の進捗状況、取組や生徒の声などを広く情報発信できるように、ホームページの掲載情報の充実を図る

文化芸術活動の受け皿に関する情報発信

1 市立小学校に通う小学生への案内



2月にまずは小学6年生に音楽関係（合唱、吹奏楽、室内楽等）の情報をチラシで配布



- ・他の文化芸術活動の紹介についても準備を進める
- ・現小学5年生以下の児童に対する紹介については、紙での配布だけでなく、効果的な方法を検討する

2 ホームページ等を活用した情報発信の充実

小・中学生対象の文化芸術クラブや、体験教室等の情報を、市ホームページに一覧表で掲載する形や、クラブマッチングアプリ等の活用についても研究を進め、広く情報発信ができるよう準備を進めます。



学校施設の有効活用に向けて

1 スマートロックシステムの実証



モデル校での実証

- ・効果の検証
- ・課題の検証
- ・解決方法の検討
- ・防犯面の増強
- ・利用規約の見直し 等



本格実施

2 体育館以外の学校施設開放に向けた取組

<学校施設開放に向けた主な取組>

- ・教育委員会規則の改正
「長野市立学校体育施設の開放に関する規則」
- ・「学校施設開放利用の手引き」の作成
冷暖房、教室使用等のルール作り
破損、汚損への責任の所在を明記



全庁的な連携強化



主な課題	課題の具体	令和7年度の実践案(担当課)
移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の移動手段 ・学校間の移動手段 ・中山間地域の移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用の拡大(学教) ・民間企業との連携、民間事業者との連携強化(スポ) ・指導者派遣型の実証(文芸)
指導者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者(有資格者)の確保 ・資格取得に向けた支援 ・協力者の確保 ・持続可能な人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・県指導者リストの活用(学教) ・協会、総合型地域スポーツクラブ等への負担金(スポ) ・企業等への説明(三課) ・大学/専門学校との連携(三課)
大会への参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・中体連競技細則 ・陸上競技等の大会参加枠の上限 	<ul style="list-style-type: none"> ・県中体連、県吹連等への要望(三課) ・各連盟、協会等への説明
費用負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・困窮世帯への支援の具体、方向性 ・応援企業等 ・部活動指導員制度の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会への相談(三課) ・企業等への説明と、応援企業制度の試行(三課)
更なる理解を得るための周知	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生と保護者の理解促進 ・市民への情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの有効活用 ・小学生への説明会の実施(三課)